

CASBEE-建築(新築)2014年版
南近代ビル株式会社様 自走式駐車場計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								1.9
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能				3.0		3.0		
2 界壁遮音性能						3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0		
1.3 吸音						3.0		
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温						3.0		
2 外皮性能						3.0		
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御						3.0		
2.3 空調方式						3.0		
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1 屋光率						3.0		
2 方位別開口						3.0		
3 屋光利用設備						3.0		
3.2 グレア対策								
1 屋光制御						3.0		
3.3 照度						3.0		
3.4 照明制御						3.0		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質						3.0		
2 アスベスト対策								
4.2 換気								
1 換気量						3.0		
2 自然換気性能						3.0		
3 取り入れ外気への配慮						3.0		
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								2.5
1 機能性								2.6
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性				2.6	0.40			
2 高度情報通信設備対応				4.0	0.40			
3 バリアフリー計画	バリアフリー法基準に適合(福祉まちづくりも協議済み)			4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観				1.0	0.30			
2 リフレッシュスペース						3.0		
3 内装計画				1.0	1.00			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計				2.5	0.30			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
3 衛生管理業務				2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性								2.6
2.1 耐震・免震								
1 耐震性				2.6	0.30			
2 免震・制振性能				3.0	0.50			
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.80			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.20			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.11			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.22			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.22			

2.4 信頼性			1.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.4	0.30	-	-	2.4
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	155.20 / 1320.00 = 0.1175・・・	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.1	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.29	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.14	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.29	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.29	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.11 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.63	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI 0.11	5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体 + 軽鉄 + ボード 鉄骨接合部:ボルト接合	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			1.6	0.20	-	-	1.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			1.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	1.00	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		排出率 53%	4.8	0.33	-	-	4.8
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止		燃料機器 使用せず	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	